

日本語教育学会 2018 年度第 1 回支部集会【九州・沖縄支部】

■2018 年 6 月 30 日（土）・7 月 1 日（日） @福岡女子大学（福岡県福岡市）

■内容

・ 1 日目 講演 田尻英三氏（龍谷大学名誉教授）

山笠の時期です。ホテルの予約はお早めに！

「外国人労働者の受け入れでどう変わる？－これからの日本語教師の役割－」

研究発表（口頭発表 3 件・ポスター発表 5 件）

・ 2 日目 ワークショップ 田尻英三氏（同）

「無関心ではいけない！政府の日本語教育施策を読み解く」

交流ひろば（9 件）

※その他のプログラムは企画中です。詳細が決定次第、学会ウェブサイト公開します。

■講演とワークショップの概要

講師：田尻英三氏（龍谷大学名誉教授）

講演「外国人労働者の受け入れでどう変わる？－これからの日本語教師の役割－」

この数年の政府の外国人労働者の受け入れ施策が大きく変わりました。法務省の告示基準での「日本語教員の要件」も発表されました。文化庁の「日本語教育人材の養成・研修の在り方」も決まりました。これらにより、日本語教師の役割も、以前からのものとは変わって来ました。この動きを説明したうえで、田尻の私案を当日配布します。これは、日本語教育推進議連の勉強会で発表したもので、未公開の資料です。

ワークショップ「無関心ではいけない！政府の日本語教育施策を読み解く」

現在、政府による外国人受け入れと、それに対する日本語教育施策が次々と発表されています。ただ、それらの施策の文言だけを見ては、それらの施策の狙いが見えてきません。当日は、参加者の質問に答えながら、実際のサイトの読み取り方を探っていきたいと考えています。参加者には、『外国人労働者受け入れと日本語教育』（ひつじ書房）所載以降の政府の施策を表にした未公開の資料を配布します。

★田尻先生への事前の質問を受け付けます！（6/23 まで）

政府の日本語教育施策や外国人労働者受け入れについてなど田尻先生への質問、また、他の参加者と意見交換や情報交換したい項目を事前に受け付けます。寄せられた質問等は、ワークショップの際に田尻先生に取り上げていただきます。疑問点、気になること、詳しく知りたいこと、情報共有したいこと、何でも結構です。田尻先生から直接説明が聞けるチャンスですので、お気軽にご質問ください。多くの質問をお待ちしております。

質問受付締切日：2018 年 6 月 23 日（土）

質問送付先：日本語教育学会九州・沖縄支部活動委員会委員 吉川達 宛

E-mail kyushuokinawasibu@gmail.com

（メールには質問に加えて、ご所属、お名前を記載ください）